

第二次日向市地球温暖化防止対策実行計画  
(事務事業編)

令和6(2024)年度実績

令和8(2026)年3月  
日向市

# 1 温室効果ガスの削減目標

## ・ 温室効果ガス削減目標

市役所の全ての事務及び事業により排出される温室効果ガスの排出量を基準年度（平成 25 年度）に比べ 50%の削減を目標とします。

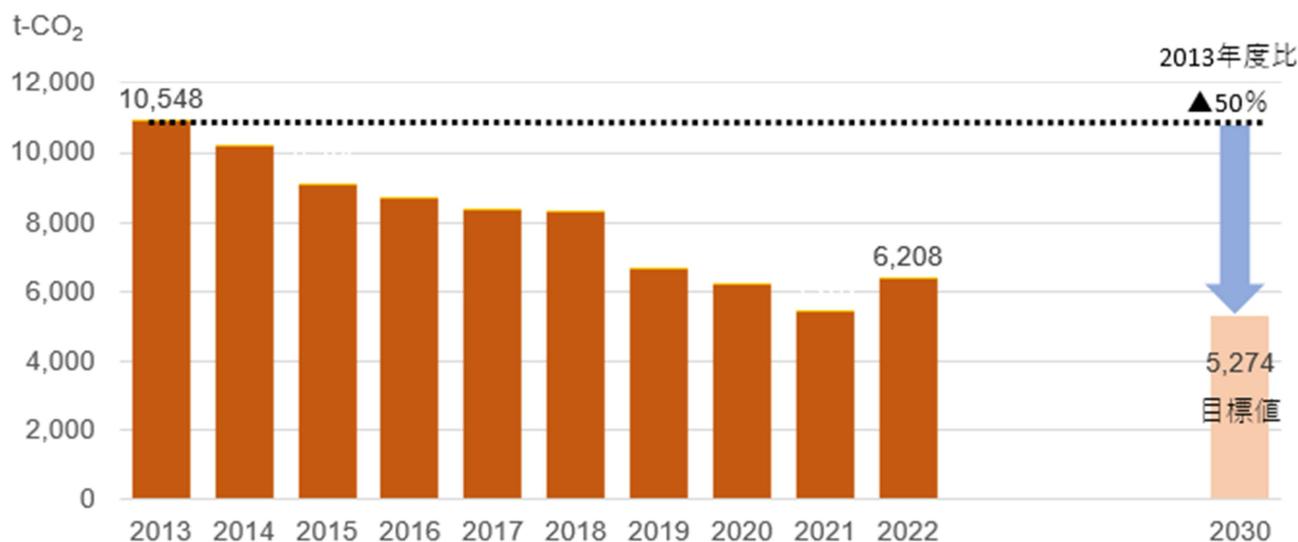


### 【目標設定の考え方】

「政府がその事務及び事業に関し温室効果ガスの排出の抑制等のため実行すべき措置について定める計画(以下「政府実行計画」という。)」では、地方公共団体の事務及び事業に伴う排出の多くが該当する「業務その他部門」は、「2030 年度までに 2013 年度比 50%削減」という目標を掲げていますので、温室効果ガスの削減目標を政府実行計画と同等とします。

なお、削減目標の達成に向けては、市役所の温室効果ガスの排出量の約 95%を CO<sub>2</sub> が占めることから、CO<sub>2</sub> の削減に注力して取り組むこととします。

図 1 温室効果ガスの削減目標



出典：第二次日向市地球温暖化防止対策実行計画（事務事業編）P14 第 3 章 2 項

## ・削減対象とする温室効果ガス

市役所の全ての事務及び事業において削減対象となる温室効果ガスの種類と排出源は次の表のとおりです。

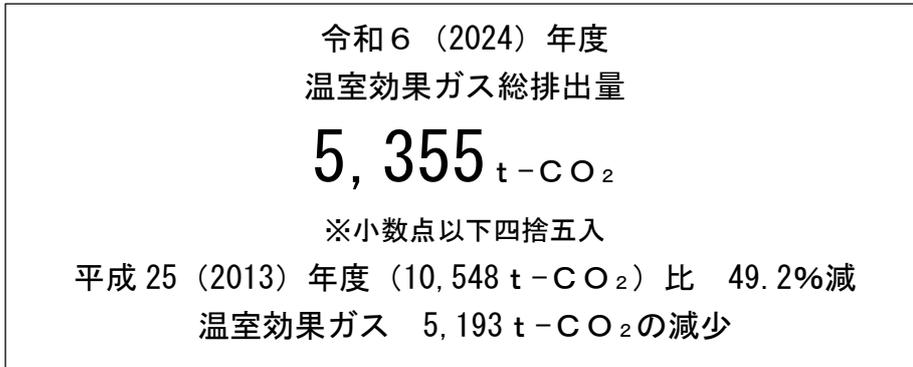
表 1 削減対象とする温室効果ガス

	温室効果ガス名	記号	地球温暖化係数 <sup>※1</sup>	主な排出源
1	二酸化炭素	CO <sub>2</sub>	1	燃料の使用、電気の使用等
2	メタン	CH <sub>4</sub>	28	燃料の使用、自動車の走行、下水の処理等
3	一酸化二窒素	N <sub>2</sub> O	265	燃料の使用、自動車の走行、下水の処理等
4	ハイドロフルオロカーボン類	HFCs	1,300 ほか	カーエアコンの使用

※1 二酸化炭素の温室効果能力を「1」としたときの、各種温室効果ガスの温室効果能力。

## 2 温室効果ガス排出量の現状と比較

### ・温室効果ガス総排出量



令和6（2024）年度の温室効果ガス総排出量は、基準年度である平成25（2013）年度の総排出量と比較すると49.2%減少、前年度と比較すると20.9%増加しています。

前年度から排出量が増加した大きな理由は、主な電力会社である九州電力株式会社のCO<sub>2</sub>排出係数が増加したことによるものです（図3）。これは、販売電力量が増加し、販売電力全体に占める火力発電電力量の割合が増加したことが要因として挙げられます。

また、電気をはじめとする各エネルギー使用量も僅かに増加しています。

図2 市役所のすべての事務及び事業活動における温室効果ガス排出量 (t-CO<sub>2</sub>)

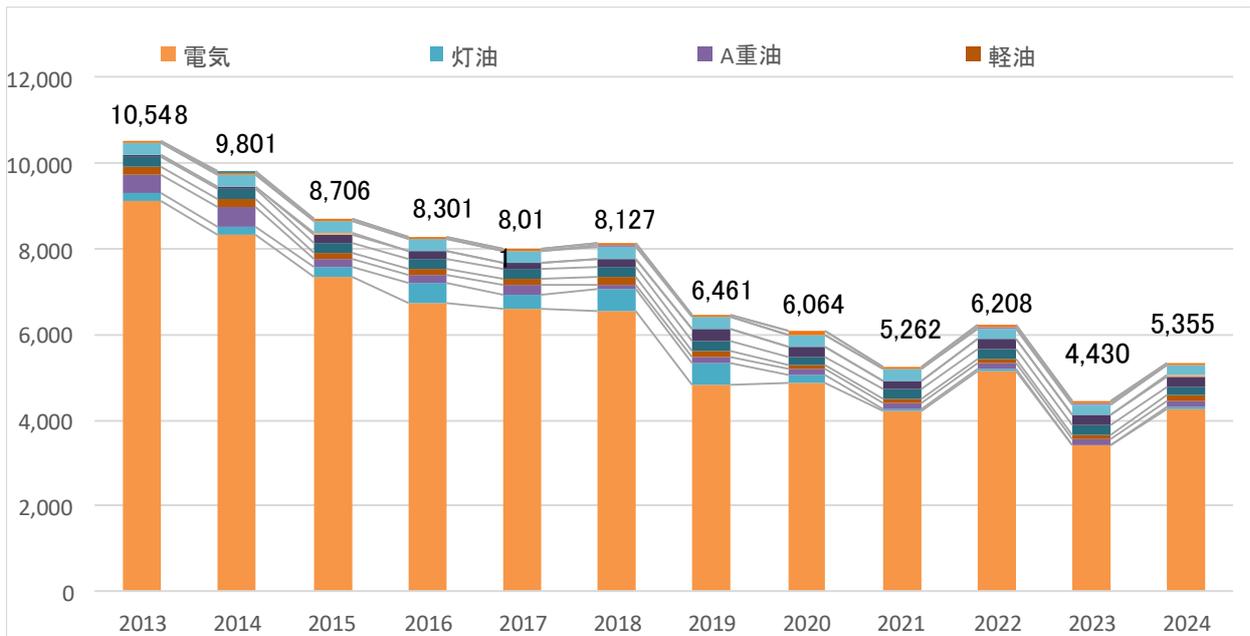
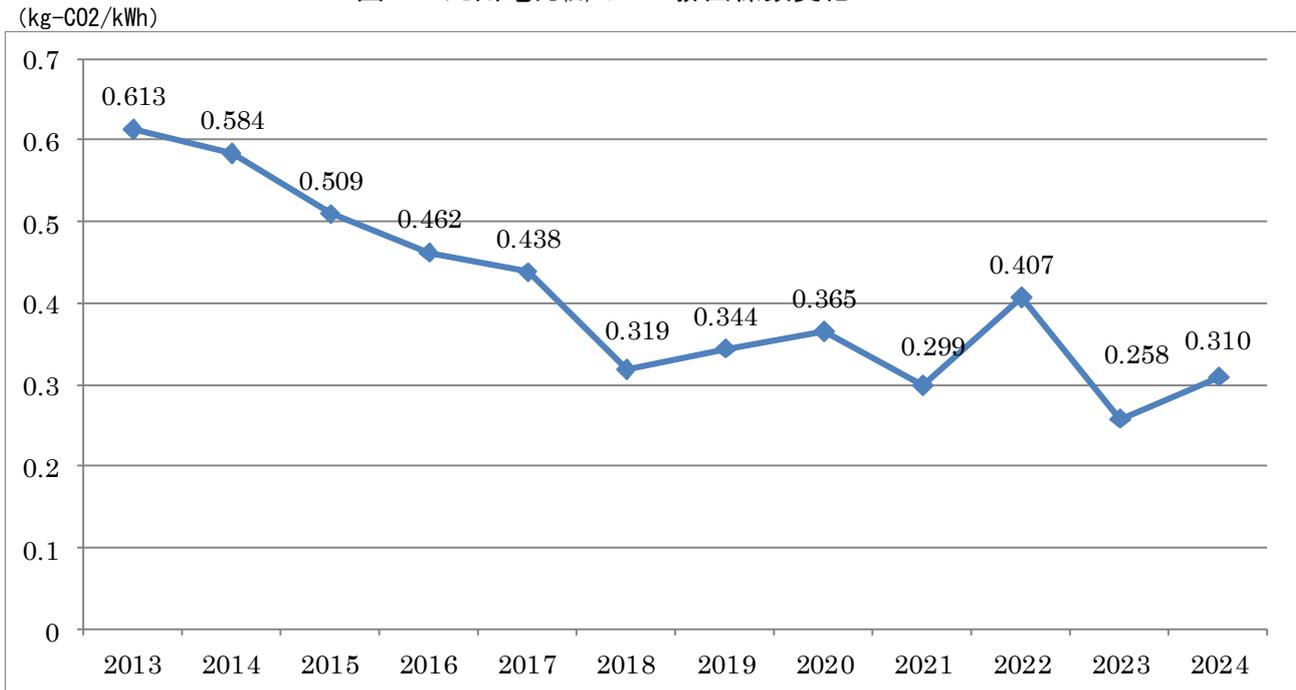


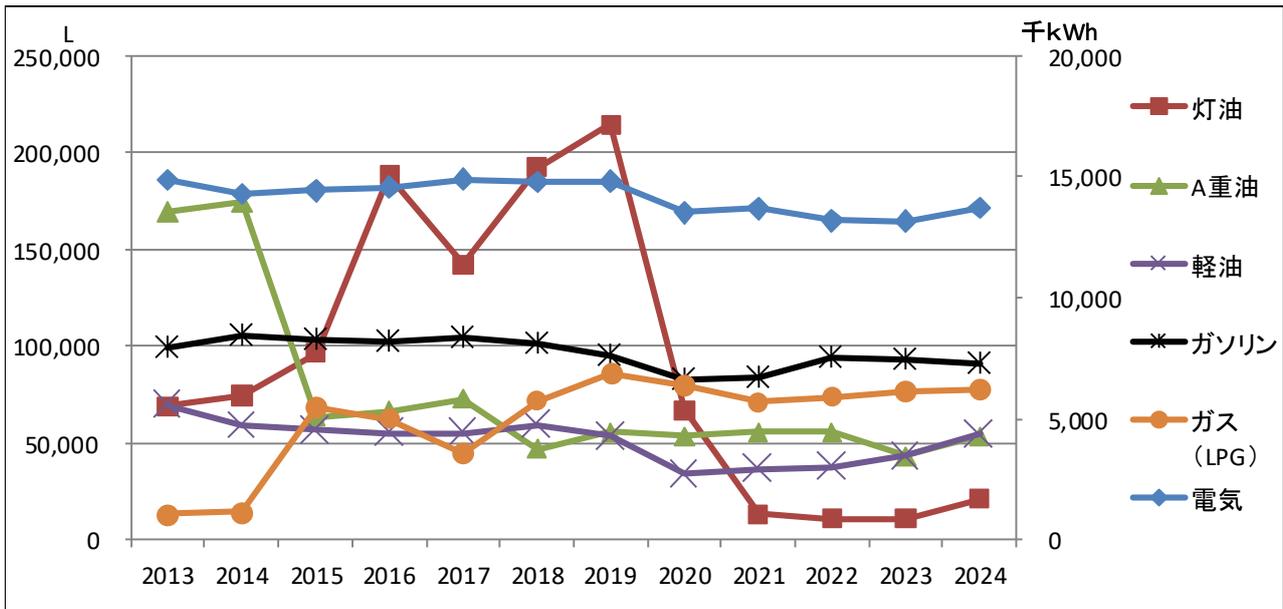
図3 九州電力株のCO<sub>2</sub>排出係数変化



・種類別、年度別のエネルギー使用量

エネルギー使用量は、全体的にみると令和3（2021）年度以降ほぼ横ばいです。令和5（2023）年度と比較すると、ガソリンを除くすべての種類が僅かに増加しています。中でも、教育施設での灯油の使用が増えていました。

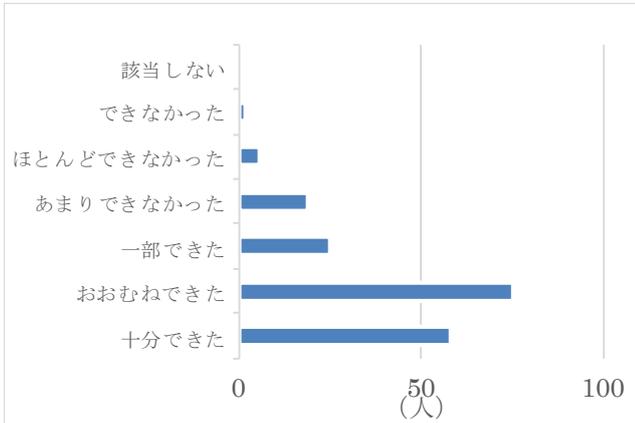
図4 種類別エネルギー使用量



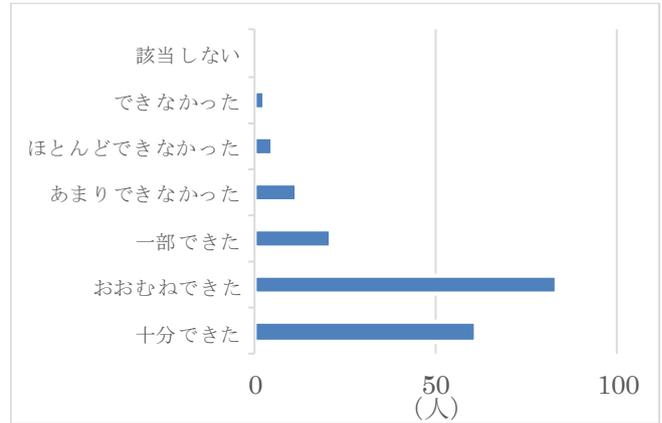
### 3 職員の意識向上

毎年、年度末に全職員に対して「温室効果ガス排出量削減のための取組チェック」を行っています。

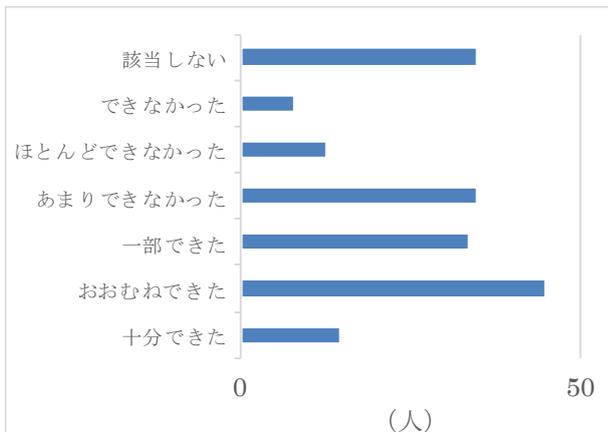
Q1 働き方を見直して残業時間を減らしましょう。



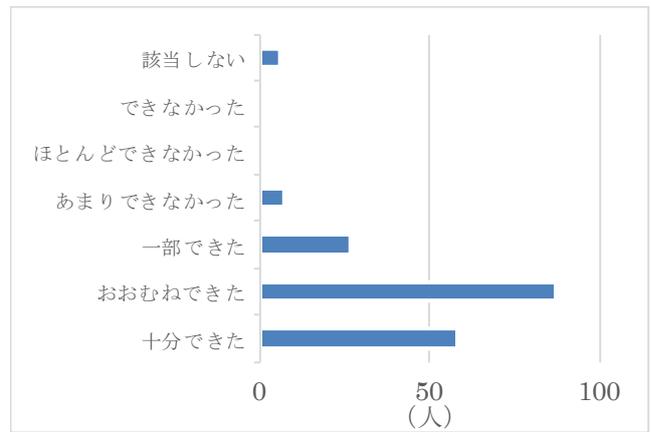
Q2 クールビズ、ウォームビズを実践しましょう。



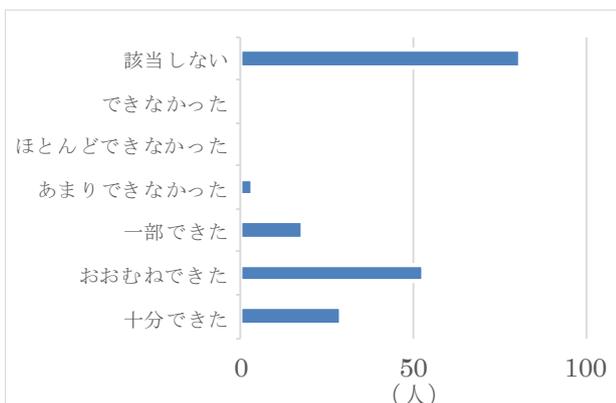
Q3 施設の閉館前や職員の退庁前など、いつもより15分早く空調設備の稼働を止めましょう。



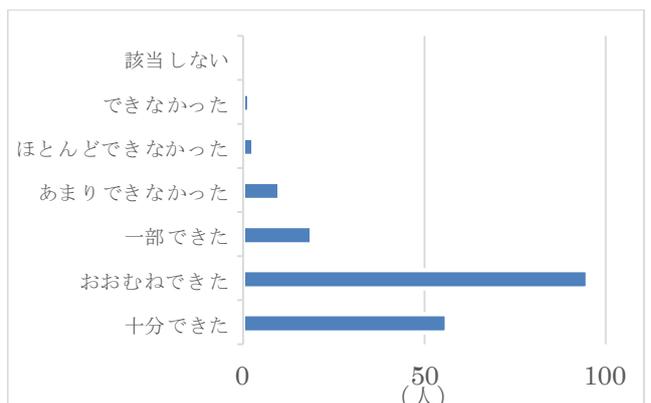
Q4 部屋を短時間しか使用しない場合は、空調設備の使用を控えましょう。また、空調設備を使用した場合には消し忘れに注意しましょう。



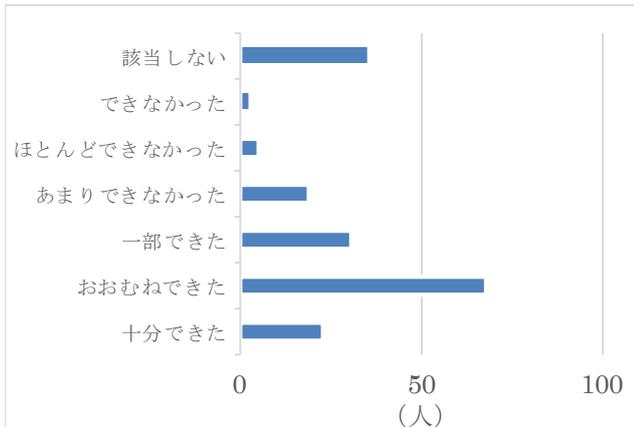
Q5 ブラインドやカーテンを使い、太陽の熱を賢く利用し、空調設備に頼りすぎないようにしましょう。



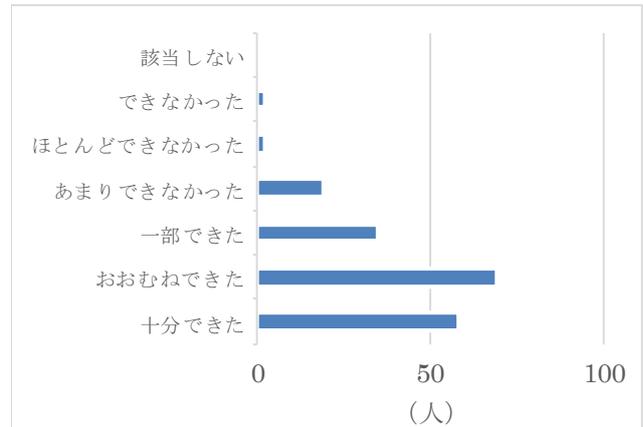
Q6 不在時や不要時に照明をこまめに消灯しましょう。特に始業前、昼休み、残業時は、必要な照明のみ点灯としましょう。



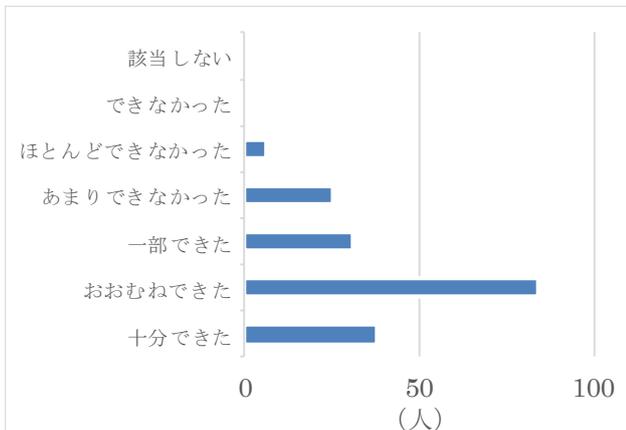
Q7 できるだけ窓際の照明の利用を控えて、自然の光を積極的に利用しましょう。



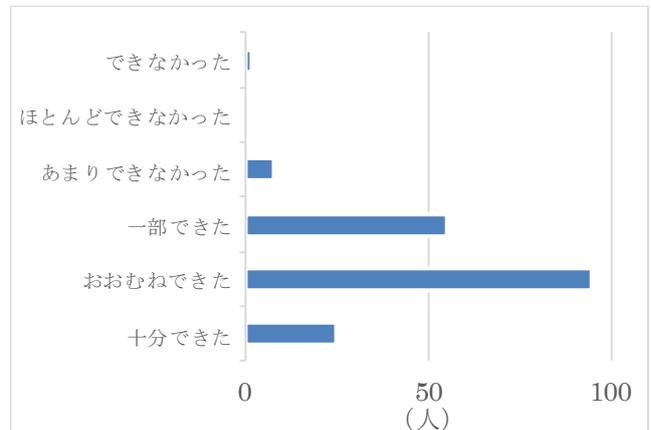
Q8 外出時や退庁時には、パソコンの電源を切りましょう。



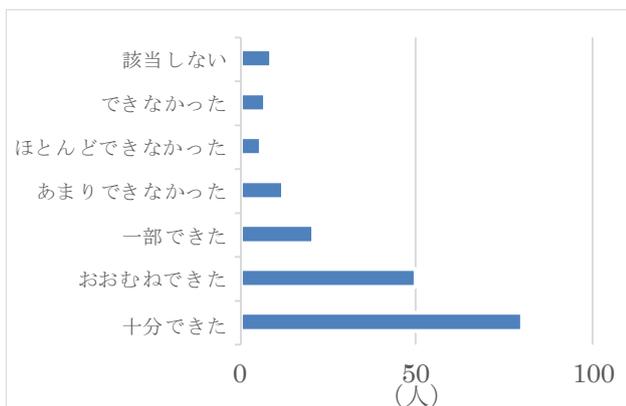
Q9 パソコン、プリンター、コピー機等を省エネモードに設定しましょう。



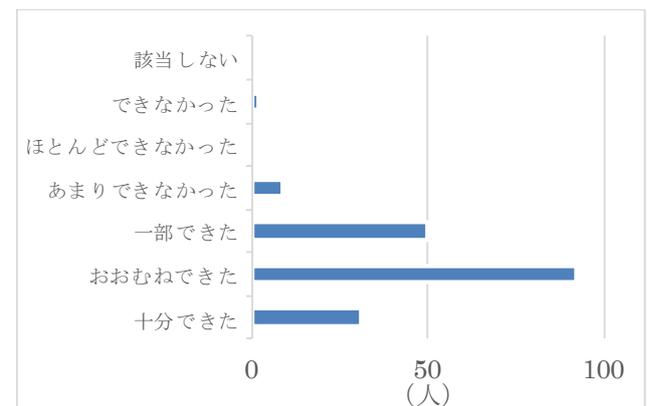
Q10 エコドライブ10のすすめを実行しましょう。



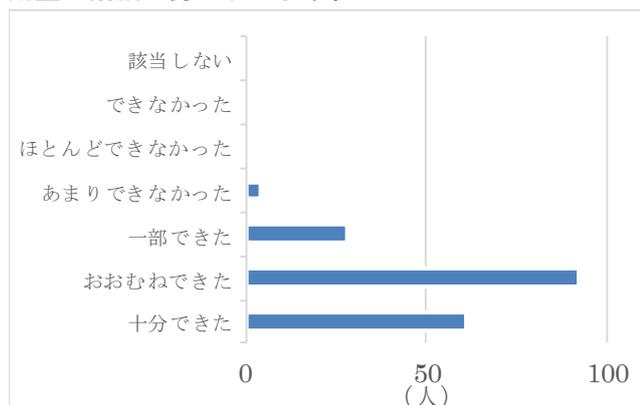
Q11 走行距離及び給油量を記録して、使用状況の管理を行いましょう。



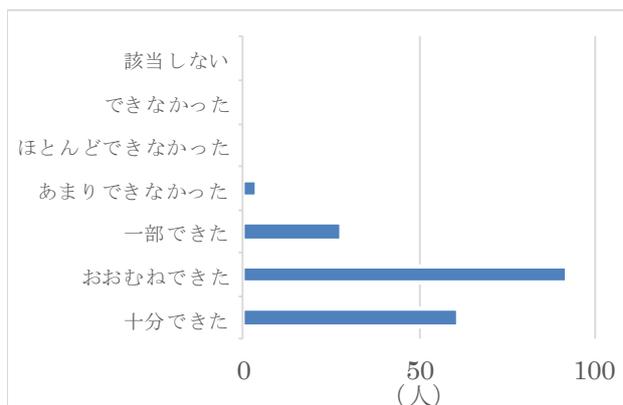
Q12 ファイリングシステムを活用して、個人で必要以上に資料を持たず、共有化を図りましょう。



Q13 両面印刷などパソコンの印刷設定により紙の使用量の削減に努めましょう。



Q14 適正処理のため、ごみの分別を徹底しましょう。



温室効果ガスの排出量の削減のために職場で自ら取り組んだ行動については、以下の取組が挙げられました。

- ・ 冬場はひざ掛けを使用した。
- ・ 出勤手段を徒歩にするなど、工夫を行った。
- ・ 資料のペーパーレス化に取り組んだ。
- ・ 通勤は徒歩 (2 km)

#### 4 今後の取組

令和6 (2024) 年度の温室効果ガス総排出量は、基準年度である平成25 (2013) 年度の総排出量と比較して49.2%削減となり、目標の50%に近い数字となりました。

前年度と比べると、九州電力(株)のCO2排出係数の増加が大きな影響を及ぼしていますが、エネルギー使用量も増加しているため、引き続きエネルギー効率の高い設備の導入や節電など、省エネルギーの取組を進める必要があります。

また、毎年実施している地球温暖化防止対策推進員の研修については、今年度は各課(かい)の推進員のみならず全職員を対象に拡大しました。会場に来られない職員には、Zoomでの配信も行い、参加しやすい環境を整備しました。

電子申請や電子決裁が進み、ペーパーレス化への意識も高まっていますが、職員一人ひとりの更なる温暖化対策への理解と意識向上を図るため、今後も研修や情報共有を継続していきます。

第二次日向市地球温暖化防止対策実行計画（事務事業編）  
令和6（2024）年度実績

令和8（2026）年3月発行

日向市 市民環境部 環境政策課  
宮崎県日向市大字富高2203番地1  
電話 0982-53-2256（直通）  
FAX 0982-53-9260